

未来の学校をみんなでつくる通信（MIN-TSUKU通信）

～学校再編準備室からのお知らせ～

vol. 5

（2026年7月27日発行）

■ 今回のテーマ：令和8年度第1回中川原小学校学校運営協議会に参加してきました（5月29日）。

学校運営協議会委員の皆さまに「学校再編に向けての方針（案）」を説明し、ご意見をいただきました。

保育所に通う園児は多いので、小学校の児童数を増やす施策を考えてはどうか。

学校がなくなると、地域との接点なくなる。

統合することにより、学校で働く会計年度職員にも影響がある。

学校を減らすと、ますます人口が減っていくのではないか。



リモートワークやAIなどで、ローカルビジネスが活性化する可能性がある。

中川原中学校が洲浜中学校に統合された後の状況も調査してほしい。

学校再編により浮いた予算を、子どもたちに投資することができる。

その他、下記について協議されました。
・令和8年度 中川原小学校学校運営協議会の組織について
・令和8年度 学校経営方針について
・今後の活動計画について

■ 中川原小学校ってどんな学校？・・・「教育要覧」より

学校教育目標：『「あい」のある学校 ～認めあい・支えあい・高めあい～』



豊かな自然と家庭・地域に見守られ、なかっ子活動や一輪車、全校生給食等で温かい笑顔と絆を育む学校です。

中川原小学校 校歌
作詞 山口 憲昭
作曲 坂野 正彦
(一) 深き緑の山なみに 雄々しくそびえる 先山を 仰いで 鍛える この身体 僕も 私も たくましく 伸びる 中川原小学校
(二) 厚雲の 白砂に 寄せては返す 波の音 こたえて学ぶ 業と道 心も 身体も 健やかに 伸びる 中川原小学校
(三) 光る野花の 丘の上 澄んだ青空 雲はるか 燃える希望に 胸がなる みんな 手をとり わつまじく 伸びる 中川原小学校

■ 疑問を解決

●中川原中学校跡地はどうなってるの？・・・中川原中学校は、平成23年3月に廃校となり、中川原地域は洲浜中学校の校区となりました。校舎は、中川原連合町内会と社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会との共同事業である「中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター」として活用されることとなり、2階には「市立教育センター」が設置され、市内教育の課題解決や教員の指導力向上をけん引する拠点となっています。運動場跡地には、平成25年に「洲本給食センター」が建設され、市内12の小中学校に給食を提供する役割を果たしています。地域の人々にとっては、学校が持っていた伝統や価値観が新しい形で受け継がれることとなり、世代を超えた交流の場にもなっています。



▲ 洲本給食センター

●複式学級と職員定数について・・・小規模校で話題に上がる複式学級とは、異なる学年の子どもたちが1つの教室で学ぶことです。国・県の基準により定められており、1年生を含む場合は8名が基準となり、2～6年生の場合は14名（国：16名）が基準となります。実際には、本来担任をもたない専科の先生・教頭先生が担任を受け持つことなどにより、複式学級を解消している学校もあります。

■ 募集中！



学校再編に向けてご意見を募集しています。
（HP内で公開中）
いただいたご意見については、こちらで紹介し、
疑問点にお答えしていきます。

■ 次回のテーマ：広石小学校学校運営協議会の様子をお知らせします。

--- 発行 ---

洲本市教育委員会事務局
教育総務課 学校再編準備室
☎0799-22-3331
✉kyousou@city.sumoto.lg.jp